

3月22日(日)



桜鯛

寿司盛り

1パック

1,200円 (税込)

お久しぶりです。藤永咲也です。
段々と暖かくなってきたということで、今回の広告は、旬を迎える「桜鯛」を余すことなく使い、内容は桜鯛の握り4貫と押し寿司の食べ比べの寿司盛り合わせとなっております。
春が近づいた事で、トッピングに塩漬けの桜や芽ネギを使用!!握りは桜鯛と芽ネギを鯛皮で巻き、仕上げに柚子を効かした2貫。旬だからこそ、そのままの味で勝負した2貫。押し寿司は自慢の昆布シートを乗せ、シヤリはおぼろに胡麻、大葉を使用し、鯛の風味を一段と引き立たせてくれます。
最後に、私事ですが3月末をもちまして西田鮮魚店を退職させていただきます。2年間という長いようで短い期間。ここに来て学ぶことが沢山あり、実りある2年間になりました。自分の事を知って頂いたお客様から、私へのご要望やお褒めの言葉はとても嬉しく、頑張れる糧にもなりました。2年間本当にありがとうございました!!

西田鮮魚店 藤永 咲也



西田鮮魚店

72-5246

御用聞き便専用番号 ☎090-7125-5489 (旧庄原市内はご自宅に配達)

『変わらなくては!!』

鮮コーポレーション(株) 代表取締役会長 西田 昌史



I 侍ジャパンベスト8に散る

やっぱりかぁ。WBCはあえなくベスト8で敗退。

無理もない。ベネズエラは全員が現役大リーガーなのだから。

大谷がいるぶん、決勝まではいけるものと心のどこかで信じていた。前回のアメリカとの決勝の印象が強烈すぎた。あのトラウトと大谷の対決。トラウトのバットが空をきった瞬間を忘れない。

今年はジャッジだ。ホームラン対決が見たかった。悔しい。

一回表、ベネズエラの一番打者アクーニャーに山本由伸が先頭打者ホームランを打たれた。由伸には時おりこれがある。

でも、大谷だって先頭打者ホームランを放り込むかもしれん。

一昨年だったか、ヤンキース戦でジャッジが、この時は先頭じゃなく二番だったが、一回表にいきなりのホームラン。その裏、大谷は先頭打者ホームランを打ち返した。8対5でドジャースが勝った。スーパースターの競演で、劇的に始まり劇的に終わった、この試合が頭をかすめた。今日だって。

アクーニャーもジャッジに並ぶスーパースターだ。ホームランのショックに耐える由伸を見ながら、大谷が先頭打者ホームランをお返ししたりして：：、などと想像を逞しくした。

「大谷ならありうる」とはいえ、いくら大谷でも、いつもいつもそんなわけにはいかないだろうと思った。

だが、打った。この瞬間、勝利を確信した。今日もまた：：。

しかし、あえなく散った。5対8。だが侍ジャパンはよく戦った。盗塁で負傷した鈴木誠也に代わって出場した阪神の森下が3ランを打つという離れ業で一時は勝ち越した。しかし、その後、逆転されズルズルと：：。

そして9回裏、二死者なしで大谷、ショートフライで万事休す。最後のバッターになった。残念だったが納得だ。大谷で終わるなら。

II 大谷の黄金像

大谷好きが高じてテレビを大きくした。大画面で大谷を見たい。ドジャースの開幕戦の3月27日が楽しみだ。

すこし古い話になるが、この一月に広島三越で『大黄金展』なるものが開催された、目玉は大谷の黄金像だという。悦子と行った。

三越での催し物は7階か8階であるのが普通だ。そのつもりでエスカレーターにのった。7階に着いた。エスカレータはここまで。

「ん？」景色がちがう、というか、そこには『ダイソー』が。

「ん？ここ三越じゃろ？」「三越にダイソー？」頭がこんがらがる。どこからどうみても『ダイソー』だ。看板を見てもPOPを見ても『ダイソー』だ。狐につままれたような気持で、とりあえずグルッとまわってみた。どこにも『大黄金展』らしき気配はない。「もう終わったんじゃないか？」。

悦子と話しながら下りのエスカレーターにのった。途中に『大黄金展』のポスターがあった。「やっぱりある。8階じゃ」。もう一度7階へ。よくよく見ると、少し離れたところに8階へのエスカレータがあった。『ダイソー』の棚に隠れて見えにくい。ぶつぶつ言いながら8階へ。

あった。ちょうどテレビの取材が入っていて少し待って入った。仕切りで囲われた空間にバットをかまえた大谷の等身大の立像が燦然と輝いている。神々しい。金箔とはいえ『金』で覆われているから神々しいのはあたりまえだろうが、そこは大谷だ。ひとときわ神々しい。大谷もここまでできたか。

高さ2メートル40センチ。金箔1550枚使用。参考価格5500万円なのだそう。参考価格というから、『金』の相場によって変動するのかもしれない。いくつか注文が入っていると聞いた。買う人があるんだ。

広島にはなかったが、ピッチャー大谷の黄金像もあるらしい。



III 街は変わる

この『大黄金展』には他にも、お釈迦様や阿弥陀様の像や、おりんや香炉などの仏具も鎮座していた。500万円から1500万円くらいまで、この世のものとも思えぬ高価な品々がずらり。

複雑な思いがした。私の頭の中には、デパートというものは高級品を売るものだという固定観念がある。だから、7階フロアに広がる100円ショップにどうしても違和感を覚える。8階の純金コレクションの価値が下がる気がして。

デパートという業態は令和では絶滅危惧種なのだと話すコンサルタントがいる。だから、変わろうとしているのだろう。令和の今にあうように。しかし三越の中の100円ショップは、断末魔のあがきに見えなくもない。ただそれでも、変わろうとしているその努力は理解できる。

広島のは、どんどん変わる。もうすぐパセーラの跡に『ロピア』という全国に展開する大型の食品スーパーができる。業界では有名な店だ。人にすすめられて埼玉に見に行ったことがある。お客様であふれていた。品ぞろえも豊富で大容量パックで安さが魅力だ。広島は初出店だが、パセーラのような中心街のしゃれた専門店が集まるところにできるような店ではなかった。それが：：。

県北だって変化と無縁ではられない。お客様のライフスタイルは、確実に変わっている。当然、店も変わらなければ。

三次のサングリーンの『ダン』が閉店したという。2階がますます寂しくなったと聞いた。もう、半世紀も前にできたショッピングセンターの時代ではないことは、みんなわかっている。

三次プラザは生まれ変わった。サングリーンは、これからどうするんだろう。どう変わるんだろう。

他人事ではない。ジョイフルはどう変わればいいんだろう。やるべきことはわかっている。わかっているのに進まない。歯がゆい。一日も早く、庄原のお客様に満足してもらえる店をつくりたいのに。このままでは変わろうとする意欲さえ失くしてしまいうさだ。

IV 日本シリーズよりワールドシリーズそしてWBC

野球ひとつとっても、大きく様変わりしている。

私はこの何年間、日本シリーズは見えていない。でも、ワールドシリーズやWBCは見えている。迫力がちがう。

大谷を見ているうちに、メジャーのパワーとスピードと選手たちの個性に魅せられた。そしてはまった。このWBCに出ているメジャーの選手の半分くらいは名前を知っている。大谷がメジャーに行くまでは誰一人知りもしなかった。そして、日本の選手の半分は知らなかった。

時代の変化とはこういうことなのかもしれない。

SNSがその変化を加速させる。すごい時代に生きているんだ。変わらなくては!!

2026年3月22日